

小田清流に

幻想的なホタルの舞



六月七日(土)・八日(日)の二日間にわたり、小田地区西田川周辺で板屋集落青壮年会主催による「第十四回ホタルまつり」が開催され、地区内外から多くの観賞客が訪れました。

ホ 板屋青壮年会ではホタルの生態調査を行いながら、



ホタル祭り会場の様子

タ ホタルの住みやすい環境整備に早くから取り組み、このホタル祭りも十四回目を迎えることができました。

初日は、中間山地事業の取り組みで小田小学校の子どもたちが招待され、ホタルについての学習を兼ねて観賞会を行いました。会場では、金魚すくいや焼き鳥・ちまきコーナーなどの催しも行われ、子どもたちの笑い声に賑やかなひと時を過ごすごすことが出来ました。

ル 毎年、ホタルの数は天候により左右されるため、開催の時期決定が難しいこと

ですが、今年は開催時期と天候が合い、入梅前の

祭



ホタル祭りでは、手作りちまきが用意されました

夜に、訪れた観賞客は幻想的なホタルの乱舞に酔いしれることができました。

り

県内唯一!
山浦地区の「下の園妙見様湧水」が平成の名水百選に選ばれました!

地球温暖化など環境問題が国際的な政治課題となっているなか、七月七日から北海道洞爺湖サミットが開催されますが、この度、国では「自然湧水等を生活に活かし、水環境を保全する地域に対し、新たに「名水百選」を認定することになり、山浦地区の「下の園妙見様湧水」が選定されました。

「下の園妙見様湧水」は、県の水質検査の結果がA(湧水の最上級ランク)で、湧水を活かした生活、川や水を活かした地域づくりなども評価され、県内では唯一百選に決定しました。

この湧水は地元下園・荻原地区の飲料水であり、また地元や下流の農業用水として水田を潤し、地域の皆さんに長い間守られた生活水で、下流の慈恩の滝に流

平成の名水百選

れ筑後川の源流となつていきます。

この度の選定をうけ、六月二十五日には東京で認定書交付式が行われ、町長と地区代表者が出席、二十七日には県知事への認定報告が行われました。

